

ID カラーカタラーゼ (ID-ASE)

For microbiological control only

カタラーゼ試験用

用途

本試薬は、カタラーゼの存在を検知し、特徴的な菌を推定することができます(1)。

原理

カタラーゼは、過酸化水素を酸化的分解反応において触媒する酵素である。カタラーゼ陽性菌は、過酸化水素と反応させることにより判別することができます。陽性反応は、酸素ガスの産生により生じる泡の発生によって判別する。本製品に含まれる濃化剤及びエヴァンスブルー(青色)は泡(酸素)観察を容易にします(2)。

キット構成

調整済み試薬	
REF 55561	2 × 5 mL 滴下ボトル +1 添付文書

組成

(3%過酸化水素溶中)

理論値 (g/L)

性能を確保するため、若干変更される場合があります。

増粘剤 20 g
エバンスブルー 0.0125 g

必要な試薬及び器具

- スライドガラス

使用上の注意

- in vitro* 試験のみににおいて使用してください。
- 熟練者が使用してください。
- 全ての検体、微生物培地、そして検体を接種した伝染性であるものとして適切にお取り扱いください。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱いください。**安全ガイドライン:** "NCCLS-M29-A, *Protection of Laboratory Workers From Instrument Biohazard and Infectious Disease Transmitted by Blood, Body Fluids, and Tissue; Approved Guideline—Current Revision*". **操作留意事項:** Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories—CDC/NIH—Latest edition、または各国の規制ガイドラインに従ってください。
- 有効期限切れの試薬は使用しないでください。
- 使用前に、ボトルストッパーが損傷していないか確認してください。
- 本添付文書で提示した性能データは、同書に記載された方法を用いて得られたものです。検査方法の変更または一部改変により、結果に影響を及ぼす可能性があります。
- 検査結果は、患者の病歴、検体、コロニーおよび顕微鏡形態、および、必要であれば、他の検査結果を考慮に入れて判定してください。

保管方法

- ボトルは 2-8°C で有効期限まで保存できます。
- 開封後は 2-8°C で 3 ヶ月間保存できます。

検体

寒天培地でコロニーから分離したサンプル。

使用法

ボトルは室温に戻してください。

スライドガラス上の試験法

- スライドガラス上に ID カラーカタラーゼ 1 滴をのせます。
- 1~2 コロニーを取り、試薬とよく混ぜ合わせます。

培地上的試験法

よく分離されたコロニーに直接 ID カラーカタラーゼ 1 滴を垂らします。

判定

カタラーゼ陽性反応は、反応開始直後に泡(酸素)が発生します。

品質管理

各ユーザー側で本製品の品質管理試験を行う場合は、下記の菌種を使用することを推奨します。

- Staphylococcus aureus* ATCC® 25923
- Enterococcus faecalis* ATCC® 29212

期待される結果:

菌株	結果
<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC® 25923	陽性 (+)
<i>Enterococcus faecalis</i> ATCC® 29212	陰性 (−)

注意:

意図した使用を考慮し、適切な規制(頻度、菌株数、培養温度等)に従って品質管理を実施されることをお勧めします。

留意事項

- ガードネレラ寒天培地の使用は避けてください。
- 血液寒天培地上で直接反応させると、通常よりも少し遅れて泡が発生したりコロニーの周辺から離れて発泡が観察される場合は、陽性反応として判定することを避けてください。この現象は、赤血球中のカタラーゼによるものです。

性能

性能試験は、グラム陽性及びグラム陰性の 19 菌株を用いて評価されました。

結果:

Micrococcaceae 菌株を含む 12 菌株は、カタラーゼの存在を示しながら推奨されている両技術によりガスの遊離を引起します。*Streptococcaceae* の 2 菌株を含む 7 菌株は、泡が発生しませんでした。

廃棄処理

未使用の試薬は、非感染性の廃棄物として通常の方法で廃棄してください。使用済みの試薬は他の汚染した廃棄材料と同様、感染性もしくは感染の危険のある製品の取り扱い方法に従って廃棄して下さい。

起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

参考文献

1. FLANDROIS J.P., CHOMARAT M. – *Bacteriologie medicale pratique* – MEDSI / Mac GRAW-HILL, 1989 – ISBN 2-86439-161-9.
2. ARKO R.J., ODUGBEMI T. – Superoxol and amylase inhibition tests for distinguishing gonococcal and nongonococcal cultures growing on selective media – *J. Clin. Microbiol.*, July 1984, vol.20, no1, p.1-4.

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照

(問い合わせ先)

製品関連

バイオメリュー・ジャパン株式会社

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

バイオメリュー・ジャパン株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)

*本添付文書は、下記 Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.biomerieux-jp.net/>

バイオメリュー・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目 17 番 7 号赤坂溜池タワー2 階
Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>



bioMérieux SA

376 Chemin de l'Orme
69280 Marcy-l'Etoile/France
Tel.33(0)4 78 87 20 00 /
Fax33(0)4 78 87 20 90
<http://www.biomerieux.com>



BIOMÉRIEUX